



プロ野球監督。松山市出身。愛媛県立松山商業学校(現、県立松山商業高等学校)で三塁手、投手として活躍し、4年連続甲子園出場を果たした。その後、早稲田大学に進学し、鋭いカーブを操り「カーブの藤本」という異名を取った。卒業後は、東京鉄道局(現、JR東日本)野球部の監督となり、昭和10(1935)年、第1回アメリカ遠征から帰国した東京巨人軍(現、読売ジャイアンツ)との巡業試合で2勝を挙げた。その手腕を見込まれ、翌年から始まったプロ野球公式戦、東京巨人軍の初代監督に就任。在任7年間の9シーズンで、7度の優勝という輝かしい成績を残し、巨人軍創立期の監督として第一次黄金期を築いた。太平洋戦争後は、パシフィック(後、太陽ロビンズ)、金星スターズ(後、大映スターズ)、阪急ブレーブス(現、オリックス・バファローズ)の監督を歴任、昭和36(1961)年、阪神タイガース

の監督に就任し、2度のリーグ優勝に輝いた。通算監督経験年数29年は日本プロ野球歴代最多であり、日本野球選手会(現、日本プロ野球選手会)の発足や投手の先発ローテーション制を初めて採用したことでも知られ、それらの功績が認められ、昭和49(1974)年、野球殿堂入りした。

略歴

明治37(1904)年12月20日	松山市三番町に生まれる。
大正9(1920)年	松山商業学校の三塁手、投手として4年連続甲子園出場(同12年まで)
昭和4(1929)年	早稲田大学を卒業
昭和10(1935)	東京鉄道局の野球部監督として東京巨人軍を破る。
昭和11(1936)年5月	東京巨人軍の監督に就任
12月	秋のリーグで初優勝
昭和12(1937)年	春のリーグで優勝
昭和13(1938)年	秋のリーグで優勝
昭和14(1939)年	日本選手権優勝(同17年度まで4連覇)
昭和21(1946)年	パシフィック(通称太平)の監督就任
昭和22(1947)年	太陽ロビンズの監督就任
昭和23(1948)年	金星スターズの監督就任
昭和24(1949)年	大映スターズの監督就任(同31年度まで)
昭和32(1957)年	阪急ブレーブスの監督就任(同34年度まで)
昭和36(1961)年6月	阪神タイガースの監督に就任し(同43年度まで)、セントラル・リーグ優勝
昭和39(1964)年	阪神の監督として、セントラル・リーグ優勝
昭和49(1974)年	野球殿堂入り
昭和56(1981)年2月18日	76歳で永眠

(写真提供：藤本節子氏)

〈関連図書〉

- ・藤本定義『覇者の謀略』ベースボール・マガジン社 1983年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・神田順二『92年版 野球殿堂物語』ベースボール・マガジン社 1992年
- ・藤本定義『投手教書』新評論 1994年
- ・大阪歴史博物館『ファンと歩んだ70年 阪神タイガース』阪神タイガース展実行委員会 2005年

〈主な収蔵資料〉…(P234~235, 179~180)

〈関連施設〉…野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドーム21ゲート右 TEL: 03-3811-3600